

第31回人間らしく働くための九州セミナーin北九州

現地実行委員会総会 / 総括

The 31th Kyushu Seminar for Decent Work in Kitakyushu
第31回



人間らしく働くための九州セミナーin北九州

YouTube配信 / 参加費無料 / 事前登録必須

コロナ禍と働く人びとの健康権

10月9日 13:00~17:30

記念講演①
「ジェンダー視点でみるコロナ禍における労働法の課題」
講師 / 浅倉 むつ子 氏(早稲田大学名誉教授)

パネルディスカッション①
コロナ禍の働かされ方・働き方の変化
特別企画 アスベスト問題はこれからだ

10月10日 8:50~12:30

記念講演②
「パンデミックを生きる指針
— 歴史研究のアプローチ」
講師 / 藤原 辰史 氏(京都大学准教授)

パネルディスカッション②
エッセンシャル・ワーカーの働き方と対策



●第31回 人間らしく働くための九州セミナーin北九州現地実行委員会
●事務局 / 31kai.kyushusemina@gmail.com

人間らしく働くための九州セミナー ホームページ <http://kyusemi.jp/>



2021年12月3日

健和会本部 4階+Web

目次

・はじめに	2
・現地実行委員会の確立	3
・現地実行委員会体制	4
・現地実行委員会・事務局会議の記録	5
・現地学習運動の取り組み	6

～COVID-19における働く人びとの実態と対策シリーズ～

・秋の学習会企画	7
・エッセンシャルワーカーの実態	8
・学校・保育の教育現場から	9
・医療相談事例から考える	10
・外国人労働者の実態と健康	11
・身近なジェンダーについて	12

～第31回人間らしく働くための九州セミナーin北九州～

・10月9日第1日目	13～15
・10月10日第2日目	16～17
・セミナー視聴参加者からの声	18
・紙上討論・各プロジェクト・当日の様子	19～21
・北九州現地実行委員会2年間の軌跡	22～24
・現地実行委員会を支えた現地事務局次長の声	24
・第31回人間らしく働くための九州セミナーin北九州写真集	25～27

「第31回人間らしく働くための北九州セミナーin北九州」現地実行委員会は、各労働組合や団体から若手の仲間により多くの参加をしてもらい、2019年10月19日に結成し現地の取り組みを開始しました。開催日程については、2020年11月14日・15日とし、メイン会場を北九州市戸畑区の「ウェルとばた」としましたが、新型コロナウイルス感染症が全国的に猛威を振るう中、2020年の開催については延期の判断を余儀なくされました。その後、現地実行委員会については継続が確認され、延期日程を2021年10月9日・10日としました。延期後の開催方法については、当初、県外からをWeb参加、現地北九州と福岡県内は会場参加とするハイブリッド形式を予定しましたが、感染拡大が収まらない中での国の緊急事態宣言発令やセミナーでの感染拡大リスク回避のため、Webでの開催を基本としYouTube配信を決定しました。

現地では1年延期とはなったことを前向きに捉え、100年に1度といわれるCOVID-19のパンデミックで何がおきているのかを記録し後世に伝えようとシリーズ学習会に取り組むこととし、「COVID-19における働く人びとの実態と対策」をテーマに2か月に1度のペースで連続学習会を成功させてきました。企画では、教育、医療・介護・福祉、外国人労働者、生活必需品・物流関係、生活困窮問題・労働相談などに焦点をあて、コロナ禍での働き方の変化を確認し、コロナ禍で制定・実施された制度ははたして有効だったのか等の検証を行うとともに、ジェンダー問題など今日的な課題を取り上げ、31回セミナーにつなぐ多面的且つ創意的な学習運動として進め、6回行った学習会で計400名を超える仲間が参加しました。そして、現地での取り組みと議論を重ねる中で、第31回九州セミナーにおける基本コンセプトを「コロナ禍と働く人びとの健康権」に決定しました。また、演題報告は、従来の分科会討論に替えて「誌上報告・討論」の形式をとりました。初の試みでしたが、報告数は36演題が寄せられ充実した内容となりました。

第31回九州セミナーは初のオンラインでの開催となりましたが、通信や音声障害等の大きなトラブルもなく大成功に終える事ができました。両日で770名が視聴参加し、その後も含めて1300回を超える視聴が確認できています。現地実行委員会の奮闘はもとより、本部代表世話人会の指導・援助と実務協力いただいた結果成しえたものです。

最後に、第31回九州セミナーに視聴参加頂いた九州・沖縄各県をはじめ全国の仲間の皆様のご協力に感謝し、ここにまとめとします。

1. 現地実行委員会の確立

(1) 結成総会

2019年10月19日(土)に、「第31回人間らしく働くための九州セミナーin北九州」現地実行委員会結成総会を開催しました。結成総会では、北九州第一法律事務所・現地実行委員会委員長の池上遊弁護士が「働き方改革で本当に働き方は改善されたか」、九州社会医学研究所・九州セミナー代表世話人会議長の田村昭彦医師が「人間らしく働くための九州セミナーとは」の2つの学習企画を行いました。第31回セミナーの現地実行委員会体制を確立し、取り組みの意思統一を行いました。

《当日の様子》



(2) 現地実行委員会 役員体制

実行委員長	池上 遊 (北九州第一法律事務所)
副実行委員長	秋吉 透 (八幡製鐵職対協)
同	安達 靖史 (医労連健和会労働組合)
同	岩下 幸夫 (福岡県商工団体連合会北九州協議会)
同	香川 康夫 (J M I T U福岡地方本部)
同	重野 幸介 (自治労連北九州市職員労働組合)
同	杉山 正隆 (福岡県歯科保険医協会)
同	永富 雅生 (北九州地区労働組合総連合)
同	永野 忠幸 (北九州労働者の健康問題連絡会議)
同	縄田 浩孝 (小倉東総合法律事務所)
同	西中 徳治 (公益財団法人健和会)
同	畠山 岳士 (国鉄労働組合北九州地区本部)
同	平山 博久 (黒崎合同法律事務所)
同	見口 要 (全国一般ユニオン北九州)
同	蓬田 正志 (新聞労連毎日新聞労働組合西部支部)
事務局長	那須 隆紀 (公益財団法人健和会)
事務次長	安部 敏史 (J M I T U福岡地方本部)
同	石坂 隆貴 (医労連健和会労働組合)
同	石迫 直 (福岡県建設労働組合北九州支部)
同	大島 正 (全教北九州教職員組合)
同	細川 達也 (医労連健和会労働組合) (門岡瞬)
同	津村 和彦 (自治労連北九州市職員労働組合)
同	手島 真裕美 (公益財団法人健和会)
同	中田 寛昭 (KOHO 労働組合)
同	日高 琢二 (医労連健和会労働組合)
同	藤岡 元気 (KOHO 株式会社)
同	藤本 智恵 (北九州第一法律事務所)
同	前田 一樹 (自治労連北九州市職員労働組合)
同	長田 洋一 (生協労連エフコープ生協労働組合) (村崎大智)
同	小田 恭司 (全日本年金者組合北九州市協議会) (仲築間省三)
会計監査	下川登美慧 (日本国民救援会北九州総支部)

(3)現地実行委員会・事務局会議の記録

実行委員会結成以降、実行委員会6回、事務局会議22回を行いました。途中、新型コロナウイルス感染症の拡大で各実行委員が集まったの会議は出来ませんでした。ZOOMを使ったリモート会議やWeb+会場参加のハイブリッド形式をとって議論を重ねました。1年延期が決定以降、2ヶ月に1度のペースで、シリーズ企画「COVID-19における働く人びとの実態と対策」をテーマにした連続学習会と31回セミナーの企画・立案の議論を重ねました。2019年から2年間にわたり現地実行委員会の団結し継続してきました。

《実行委員会》

2019年10月19日	第1回現地実行委員会・結成総会	健和会複合施設
2020年2月15日	第2回現地実行委員会	男女共同センタームーブ
2020年6月26日	第3回現地実行委員会	ZOOM会議
2021年8月25日	第4回現地実行委員会	ZOOM会議
2021年10月1日	第5回現地実行委員会	健和会看護学院+ZOOM (2021年10月9日・10日 セミナー当日)
2021年12月3日	第6回現地実行委員会・総括総会	健和会看護学院+ZOOM

《事務局会議》

2019年11月5日	第1回現地実行委員会	事務局会議	健和会本部
2019年12月3日	第2回現地実行委員会	事務局会議	健和会本部
2020年1月24日	第3回現地実行委員会	事務局会議	健和会大手町病院
2020年2月6日	第4回現地実行委員会	事務局会議	健和会大手町病院
2020年3月13日	第5回現地実行委員会	事務局会議	健和会労働組合事務所
2020年6月12日	第6回現地実行委員会	事務局会議	ZOOM会議
2020年7月10日	第7回現地実行委員会	事務局会議	ZOOM会議
2020年8月7日	第8回現地実行委員会	事務局会議	ZOOM会議
2020年9月11日	第9回現地実行委員会	事務局会議	ZOOM会議
2020年10月9日	第10回現地実行委員会	事務局会議	ZOOM会議
2020年11月6日	第11回現地実行委員会	事務局会議	ZOOM会議
2020年12月11日	第12回現地実行委員会	事務局会議	生涯学習センター+ZOOM
2021年1月8日	第13回現地実行委員会	事務局会議	ZOOM会議
2021年2月5日	第14回現地実行委員会	事務局会議	ZOOM
2021年3月8日	第15回現地実行委員会	事務局会議	ZOOM会議
2021年4月9日	第16回現地実行委員会	事務局会議	ZOOM会議
2021年5月14日	第17回現地実行委員会	事務局会議	ZOOM会議
2021年6月11日	第18回現地実行委員会	事務局会議	ZOOM会議
2021年7月8日	第19回現地実行委員会	事務局会議	ZOOM会議
2021年8月11日	第20回現地実行委員会	事務局会議	ZOOM会議
2021年9月24日	第21回現地実行委員会	事務局会議	ZOOM会議
2021年10月27日	第22回現地実行委員会	事務局会議	健和会本部+ZOOM

【COVID-19 における働く人びとの実態と対策シリーズ】

COVID-19 の感染爆発は、働き方・雇用関係や社会保障を中心に働く人びとの権利や健康に関する様々な問題点を噴出させました。医療・介護では、この間進められてきた保健所などの公衆衛生機能や医療・介護の供給体制の縮小・削減が、当該職場の労働者の奮闘にもかかわらず COVID-19 対策を困難にしました。また、休業要請や学校休校に基づく解雇や大幅な収入減が深刻な状況となり、とりわけ派遣や短時間勤務といった非正規労働者、さらにフリーランス・自営業などの「雇用によらない働き方」をしている労働者を直撃し、解雇・雇止めが急増し生活困難に陥りました。この間、国や財界が進めてきた雇用政策がいかに労働者として守られていないかを浮き彫りにしました。

実行委員会は、100年に1度といわれる COVID-19 のパンデミックのもと、現実には起きている働く人びとの実態を明らかにする中で、ポスト・コロナ時代の働く人びとの健康権を展望するとともに、何がおきているのかを記録し後世に伝えるため、シリーズの学習会に取り組むことを決定しました。

1. 秋の学習会企画 ～ セミナー本部と現地が共同開催

2020年10月3日(土)14:00～16:30 YouTube

テーマ：COVID-19 における働く人びとの実態と対策

参加：70名 YouTube 視聴回数 537回

《企画内容》

セミナー本部と現地の共同で、各分野・領域での実態を学ぶことを目的に「エッセンシャルワーカー」「収入激減、雇用・生活破綻」「働きかたの変化」「相談活動」に焦点をあて、シリーズのスタート企画として開催しました。

《エッセンシャルワーカー》

1. 医療・介護 全医労九州地協 松尾知宏さん
2. 公務労働～保健所の実態 北九州市職労 永野忠幸さん
3. 物流部門の実態 生協労連 長田洋一さん

《収入激減 雇用・生活破綻》

1. 自営業 福岡県商工団体連合会八幡民商 末永義和さん
2. 交通労働者 自交総連福岡地連 内田大亮さん

《働きかたの変化》

1. 外国人労働者の実態 ユニオン北九州 本村真さん

《相談からみた COVID-19》

1. 労働相談からみた COVID-19 全労連九州ブロック 小川マリ子さん
2. 法律相談からみえる COVID-19 の影響 弁護士 井下顕さん



第31回人間らしく働くための九州セミナーin北九州

秋の学習企画 ★ 第一報

COVID-19における働く人びとの実態と対策

日時 2020年10月3日(土) 開会/14:00

Web: ZOOMアプリ内での開催
YouTubeにて限定配信
※10月1日第二報にてお知らせ！！

14:15～
※1 エッセンシャルワーカーによる報告※
第Iグループ 報告
① 医療・介護
② 保健所を含む公務労働
③ 物流

15:10～
※2 収入激減・雇用・生活破綻による報告※
第IIグループ 報告
④ 自営業
⑤ 交通労働者
⑥ 外国人労働者
⑦ 労働相談
⑧ 法律相談

パネリスト紹介: Iグループ ①全医労九州地協 ②北九州市職労 ③生協労連
IIグループ ④福岡連北九州協議会の自交総連福岡地協のユニオン北九州の専任労働者 ⑤弁護士

HP検索: 「人間らしく働くための九州セミナー」

共催 人間らしく働くための九州セミナー実行委員会
第31回人間らしく働くための九州セミナーin北九州 現地実行委員会

主催 全労連九州ブロック
セミナー本部 Tel: 093-871-0549 Fax: 093-872-3695
Mail: seminar@sk-shaken.jp

タイムテーブル
14:00 本報発表
14:15 ZOOM参加開始(45分)
14:30 ZOOM参加開始(15分)
15:00 休憩(10分)
15:10 ZOOM参加開始(55分)
15:30 本報発表
16:30 終了予定

2. 第2回事前学習会～COVID-19の最前線で働く人びとの実態～

「エッセンシャルワーカーの実態」

《企画内容》

「エッセンシャルワーカー」と言われ、コロナ禍の最前線で働く医療、介護、保健所の現場実態を告発しました。病院では感染防御対策が求められる中での労働実態、介護現場からは利用者・職員の安全安心を確保するために奔走している事や感染症管理認定看護師によるコロナ対策研修の状況、歯科診療現場での治療の抑制や経営に及んでいる問題、コロナが流行して極めて加重労働となっている保健所職場・職員の実態やPCR検査対応に対する多くの苦情が寄せられた実態などが報告されました。

2020年11月14日14:00～16:00 ウェル戸畑 会場+ZOOM ミーティング

参加：会場15名+ZOOM4名

《報告者》

- 1.医療の現場から 現地実行委員会事務局長 那須隆紀さん
- 2.介護の現場から ライフ北九州事務局長 永山恵美さん
- 3.歯科診療の現場から 杉山歯科医院歯科医師 杉山正隆さん
- 4.行政(保健所)の現場から 北九州市市職労 保健所職員



**第31回北九州セミナー
第2回事前学習会**
「COVID-19における働く人びとの実態と対策
第2弾～エッセンシャルワーカーの実態～」

日時 2020年11月14日(土)
14時00分～16時00分

会場 ウェル戸畑 12階会議室

タイムスケジュール

14:00	開会挨拶 池上遊弁護士
14:05～	報告者
①医療の現場から	大手町病院救急事務 那須隆紀さん
②介護の現場から	ライフ北九州事務局長 永山恵美さん
③歯科診療の現場から	杉山歯科医院歯科医師 杉山正隆さん
④行政(保健所)の現場から	北九州市職員労働組合

企画：第31回人同らしく働くための九州セミナーin北九州 現地実行委員会
お問い合わせ 871-0449 (九州社医師)

《参加者の声》

- ・保健所の業務について報告をしていただいたが、内容が衝撃的だった。
- ・保健所の話を聞いて現状のような状況で市民と健康を守ることができるのか、ショックを受けた。
- ・医療現場、介護現場での経営問題について深刻な状況であることが分かった。

3. 第3回事前学習会 ～COVID-19 が及ぼした学びへの影響～

「学校・保育の教育現場から」

《企画内容》

アルバイトで学費や生活費を賄っていた学生のアルバイトそのものが減少している中でどのような状況になっているのかを現役の学生から、学校教育の現場からは授業の仕方までとは違う形態を取り入れなければなっている中で生徒達や対応する教育者への影響を、保育の現場からは子ども達との接触が避けられない保育労働の実態と子ども達や預け入れる親家庭への影響等を報告してもらい、実態を学ぶ学習としました。

2021年2月11日 14:00～ ZOOM ウェビナー
ZOOM 参加：68名

《報告者》

1. 大学生による報告 北九州市立大学 学生2名
2. 教育現場からの報告 全教北九州教職員組合 高津純子さん
3. 保育現場からの報告 市職労保育所部会部会長 三宅裕美さん

The image shows a Zoom webinar interface. On the right side, there is a large green banner with the following text:

第31回人間らしく働くための九州セミナーin北九州
第3回事前学習会
参加無料
COVID-19における働く人びとの実態と対策
～学校・保育の教育現場から～
教育現場にも新型コロナウイルス感染拡大の影響は大きなひずみを与えています。
小学校、中学校、特別支援学校の教育現場、保育の現場、大学生の立場からそれぞれ報告を予定しています。
生の声を聞いてコロナ禍での子どもたちの教育についてともに考えませんか。

日時 2021年2月11日(木) 祝日
開会/14:00
Zoom(ウェビナー)開催!!
インターネット環境で
お手持ちのPCやタブレットで
どこからでも視聴できます

申込方法
① 会のQRコード、もしくは下記アドレスをアクセス
<https://forms.gle/5m9Rd0B3DymNk1P5g>
② 参加申込フォームを記入し、送信
③ 事務局より申込方法の詳細がメールが届きます

タイムテーブル(発表者紹介)
14:00～開会挨拶
14:05～①大学生による報告(北九州市立大学)
14:30～②教育現場から報告(全教北九州教職員組合)
14:55～③保育現場から報告(市職労保育所部会)
15:20～ディスカッション
15:55～閉会挨拶(14:00終了予定)

主催 第31回人間らしく働くための九州セミナーin北九州本部
協賛 全教北九州 TEL: 093-871-0449 FAX: 093-872-3695 ② seminar@k-shaikin.jp

第31回人間らしく働くための九州セミナーin北九州は1年延期して開催となります
会期: 2021年10月9日(土)・10日(日) 会場: ウェルどばた 詳しくは Facebookへ

《参加者の声》

- ・ エッセンシャルワーカーである「教員」「保育士」を取り巻く状況を知ることができた。
- ・ 大学生・学校現場・保育所職場等コロナ禍の中での現状と課題が見えてきました。課題解決のためにどのように運動を進めるか考えたいと思います。
- ・ 報告の内容がとても充実しており、各現場の実態がよく理解できて勉強になりました。

5. 第5回事前学習会 ～COVID-19 が在住する外国人労働者に与えた影響～

「外国人労働者の実態と健康」

≪企画内容≫

日本で働く外国人が劣悪な環境での労働を強いられ、コロナ禍で更に健康問題が深刻な状態に陥れている実態が報告されました。日本における外国人技能実習生という制度のもとで就労するたくさんの外国人労働者の実態と健康問題について学習し、参加者の強い関心を引きました。国籍など関係なくすべての人が「人間らしく働く」ために、同じ人間としてこの問題に取り組み、運動を進めていく必要性を考えました。

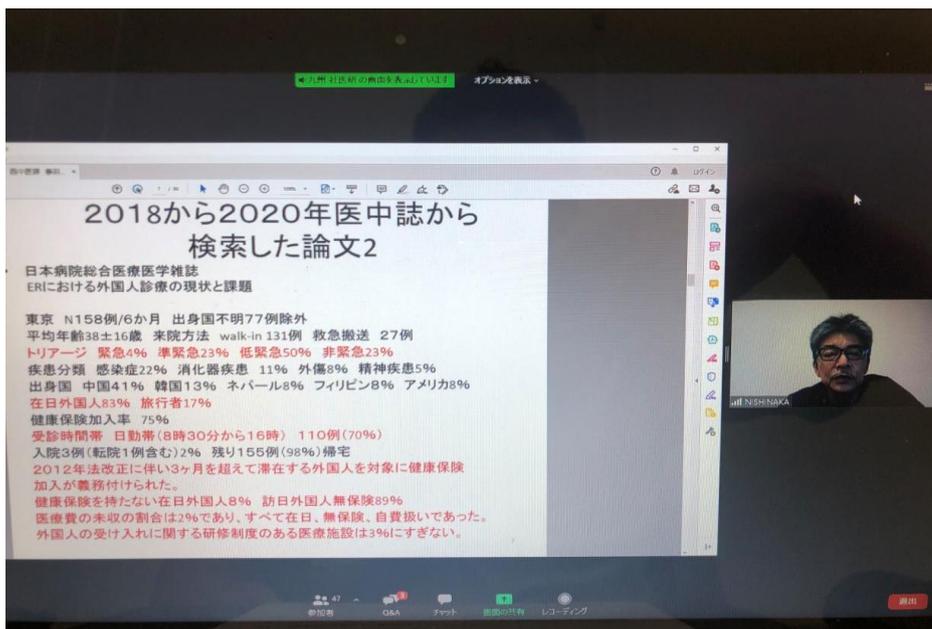
2021年6月25日18:00～ 会場+ZOOMミーティング

ZOOM 参加：51名

会場参加：30名

≪報告者≫

- 1.外国人労働者の実態 ユニオン北九州 本村真さん
- 2.外国人労働者の健康 公益財団法人健和会 西中徳治さん



第31回人間らしく働くための九州セミナーin北九州
第5回事前学習会

COVID-19における 働く人びとの 実態と対策

～外国人労働者の実態と健康～

参加無料

日時 **6月25日(金)**
2021年 **18:00～20:00**

オンライン開催(ウェビナー)
インターネット環境で
お手持りのPCやタブレットで
どこからでも視聴できます

申込方法
① 右下のQRコード、もしくは下記アドレスをアクセス
<https://us02web.zoom.us/join/register?wnl=7f9kxv6m7L1G8na-nf9p00Uw>
② 参加申込フォームを記入し、送信
③ 事務局より参加方法の詳細メールが届きます

連絡
① ユニオン北九州 執行委員長 本村 真氏
② 公益財団法人健和会 理事長 西中徳治氏

主催 第31回人間らしく働くための九州セミナーin北九州|現地実行委員会
問合せ TEL: 093-871-0449 FAX: 093-872-3695 E: seminar@k-shaiken.jp

第31回人間らしく働くための九州セミナーin北九州は
1年延期して開催となります
会期: 2021年10月9日(土)・10日(日) オンライン開催

≪参加者からの声≫

- ・日本の産業構造は外国人に支えられており外国人労働者の方を対等の労働力として受け入れる事、また産業構造そのものを見直すことを日本全体での議論を必要と感じました。無権利や暴力などの中で働かされている外国人労働者の実態をしる機会となりました。この問題にもっと目を向けていきたいと思えます。
- ・外国人技能実習生の問題はこれまでのセミナーでも取り上げており興味を持っていました。特に最近では熊本のベトナム人実習生の双子死産の事など大変深刻な状況だと思えます。外国人も日本人も同じ労働者として権利が守られる社会になるよう今後も学習・運動を継続していく事が大切と思えました。

6. 第6回事前学習会 ～多角的な視点を持つ事の重要性～

「身近なジェンダーについて」

《企画内容》

第31回九州セミナーの記念講演をより深く理解してもらう為の企画とし、ジェンダー問題の基礎とともに、ジェンダーギャップ指数（各国と日本の比較のグラフ等）などの国際比較した資料に基づく働く現場での男女間の不平等の問題や、男女の非正規雇用における割合と女性労働の実態などを、コロナ禍で現れているジェンダー問題について学びました。

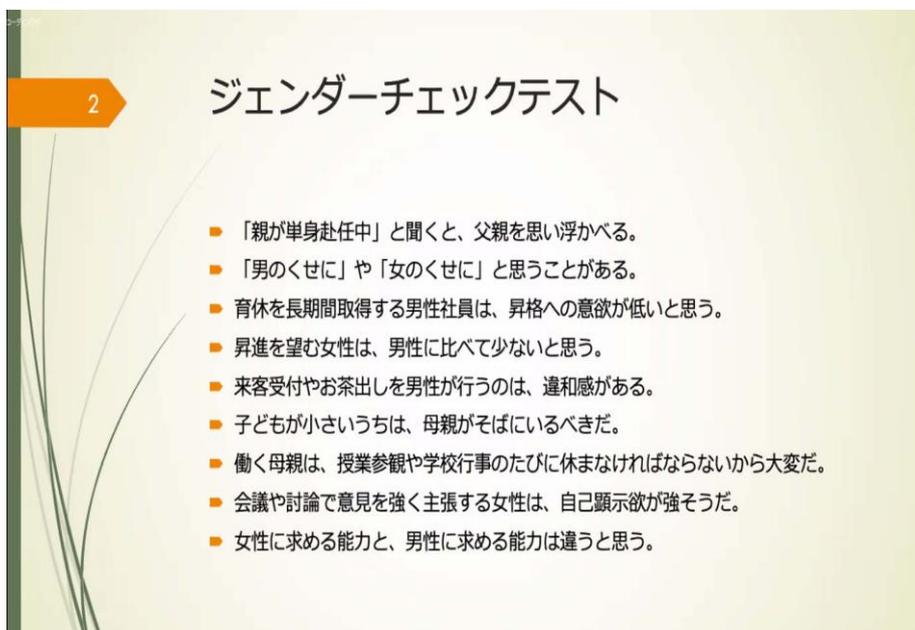
2021年8月25日 18:00～ 会場+ZOOM ミーティング

ZOOM 参加：38名

会場参加：22名

《講師》

女性協同法律事務所 柏熊志薫弁護士



2 ジェンダーチェックテスト

- 「親が単身赴任中」と聞くと、父親を思い浮かべる。
- 「男のくせに」や「女のくせに」と思うことがある。
- 育休を長期間取得する男性社員は、昇格への意欲が低いと思う。
- 昇進を望む女性は、男性に比べて少ないと思う。
- 来客受付やお茶出しを男性が行うのは、違和感がある。
- 子どもが小さいうちは、母親がそばにいるべきだ。
- 働く母親は、授業参観や学校行事のために休まなければならないから大変だ。
- 会議や討論で意見を強く主張する女性は、自己顕示欲が強そうだ。
- 女性に求める能力と、男性に求める能力は違うと思う。



第31回人間らしく働くための九州セミナーin北九州
第6回事前学習会
身近なジェンダーについて

参加無料

日時 2021年 8月25日(水) 18:00～19:00

オンライン開催 (Zoomミーティング)
インターネット環境でお手持ちのPCやタブレットでどこからでも観覧できます

参加方法

- 下記アドレスをアクセスしてください
<https://us02web.zoom.us/j/8112348822?pwd=DGxwRSRhaXh3aXpwb3c0VXhQVjRlEjYU09>
- Zoomのインストールは各自でお済ませいただくようお願いいたします
- アクセス開始は8月25日(水)17:50からです
- 事前登録は不要です

講師
女性協同法律事務所
弁護士 柏熊志薫 氏

先日送付しましたチラシに誤りがございました。申し訳ございません。左記の参加方法をご覧の上、当日アクセスしてください。

主催「第31回人間らしく働くための九州セミナーin北九州」現地実行委員会
TEL: 093-871-0449 FAX: 093-872-3695 E: seminar@k-shaikou.jp

第31回人間らしく働くための九州セミナーin北九州は
1年延期して開催となります
会期: 2021年10月9日(土)・10日(日) オンライン開催 詳しくは九州セミナーin北九州

《参加者からの声》

アンケート未実施

【 第 31 回人間らしく働くための九州セミナーin 北九州 】

「コロナ禍と働く人びとの健康権」

□2021年10月9日・10日 YouTube 配信 □参加申込者数：770名 視聴回数 1398回

I. 10月9日 第1日目

【記念講演1】 13:10～14:10

「ジェンダー視点でみるコロナ禍における労働法の課題」

(講師) 早稲田大学名誉教授 浅倉むつ子先生

看護・介護などのエッセンシャルワークや非正規労働者は女性労働者が多く、COVID-19の社会的困難がジェンダーバイアスを持っています。非正規労働者の問題やジェンダー不平等の社会では女性が過酷な現実さらされている実態について、コロナ禍で働く人びとの健康についてジェンダーの視点で講演頂きました。



第31回 人間らしく働くための九州セミナー
in 北九州

▶ ジェンダーの視点でみるコロナ禍に
おける労働法の課題

2021年10月9日
浅倉むつ子 (早稲田大学名誉教授)

【パネルディスカッション1】

「コロナ禍の働かされ方・働き方の変化」

コロナ禍における感情労働者を中心としたメンタルヘルス不調や、テレワークにおける長時間労働、筋骨格系障害、さらに「非正規」「雇用よらない働き方」など国と財界が進めてきた新自由主義的「働かされ方」によって一層貧困化が進行している問題等について、6つの分野から働く人びとの健康影響についての実態を報告してもらい、課題の整理を行うとともに、ポスト・コロナ時代に向けての「健康権」を確立するためにこれからの働き方をどう展望していくのかを考えました。

《コーディネーター》

青木珠代さん(九州セミナー本部事務局長)

《パネリスト》

1. シングルマザーの現状 シンママ応援団 皆川誉子さん
2. コロナ危機下の非正規労働者の実態 首都圏青年ユニオン 原田仁希さん
3. コロナ禍における民商・飲食スナック業者の現状と健康 福岡商工団体連合会 岩下幸夫さん
4. テレワークと健康 SE 労働と健康研究会の調査と労働衛生相談から考える
労働衛生コンサルタント 阿部眞雄さん
5. 医療現場からの報告 健和会大手町病院 吉野興一郎さん
6. 労働相談から見てきた問題を考える 北九州地区労連 永吉孝一さん



【特別企画】

「アスベスト問題はこれからだ！」

建設アスベスト訴訟において最高裁は、国の責任を広く認めた東京高裁判決を支持し国の上告を棄却し国の責任が確定しました。また最高裁は2020年10月22日に神奈川ルートの弁論を開いており、最高裁に上告されている一連の建設アスベスト訴訟でも2021年中には最高裁判決が出される可能性が高くなりました。この裁判に勝利して国・建材メーカーによるアスベスト被害者救済基金創設を創設させる必要があります。さらに、これまでの被害者救済とともに、解体作業などによる労働者や周辺住民の新たな「公害」被害を防ぐことが必要です。

裁判の到達とともに、被害の実態、潜在化させられている被害者救済の取り組み、大気汚染防止法・石綿則改正後の課題などを九州アスベスト訴訟弁護団・池上遊弁護士が報告し、アスベスト被害者原告の遺族が訴えました。

《報告者》

- 九州アスベスト訴訟弁護団 池上遊弁護士
- アスベスト被害者原告・遺族 柴田清子さん



九州セミナー 特別企画 アスベスト問題はこれからだ

2021.10.9

福岡県建設労働組合 池田

九州建設アスベスト訴訟弁護団 池上

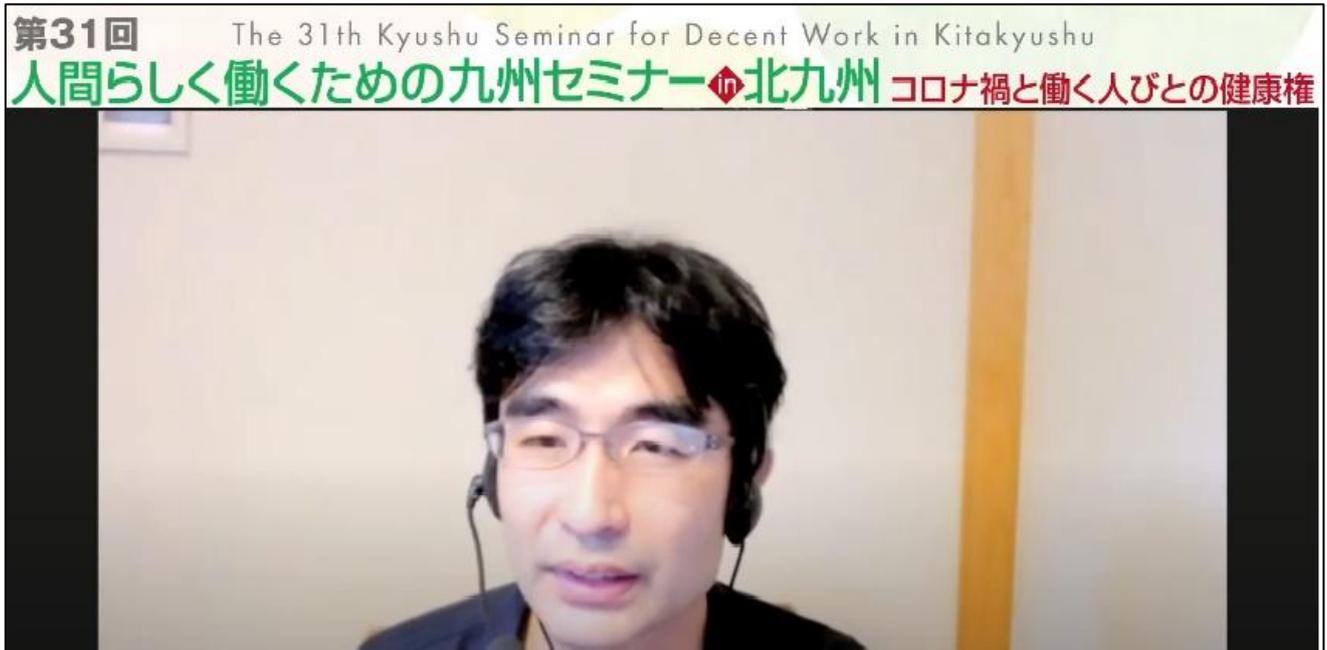
II. 第2日目 10月10日

【記念講演2】 9:00~10:00

「パンデミックを生きる指針 ～ 歴史研究のアプローチ ～」

(講師) 京都大学人文科学研究所准教授 藤原辰史先生

新型コロナウイルスのパンデミックを経験しているいま、人類史的に見て「感染症」をどのように考えていくのかを食と農の関係から捉える話から入られ、労働力にせよ、生き物にせよ、市場の外から調達される生命の力をやりたい放題に搾取してきた「つけ」がこのパンデミックで如実にあらわれていることを解説頂きました。そして、人間世界と環境世界の「はたらき」の搾取は同根の問題であり、資本主義の根源にあたる問題とし、新自由主義の問題や脆弱さを告発されました。



2021/10/10人間らしく働くための北九州セミナー

パンデミックを生きる指針

歴史研究のアプローチ

京都大学人文科学研究所
藤原辰史

【パネルディスカッション 2】

「エッセンシャルワーカーの働き方と対策」

コロナ禍で社会を支えている医療・介護、小売業、物流、清掃などのエッセンシャルワーカーの働き方・働き方に注目が集まりました。医療ではこれまでの保健所などの公衆衛生機能や医療介護供給体制の縮小削減により COVID-19 対策を困難にしていることやメンタルヘルスの不調をきたしている実態、公務職場での度重なる定数削減により保健所職員が月の残業時間が過労死ラインを超える過酷な労働実態にあること、教育や保育の現場では一斉休校による影響、個人保護具も不十分なまま検温確認や教室の消毒作業、さらにオンライン授業対応などにより時間外労働が増加している実態、コロナ禍で子どもたちの健全な発達に影響が大きくなっていること、小売業労働者における顧客対応や労働衛生対策の課題等に報告いただき、エッセンシャルワーカーの働き方・働き方実態とその原因、対策について討論しました。コメンテーターとして「いの権全国センター」理事長の埴田和史さんに加わっていただきました。

《コーディネーター》

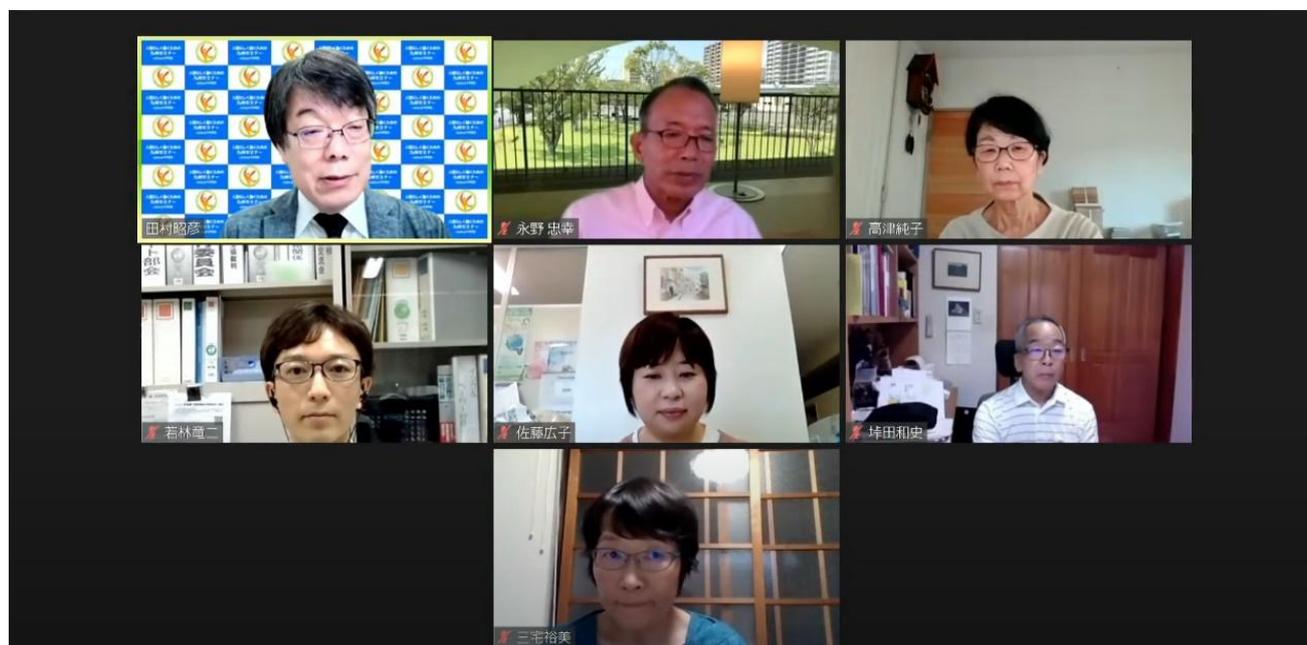
田村昭彦さん（九州セミナー代表世話人会議長）

《コメンテーター》

埴田和史さん（びわこリハビリテーション専門職大学教授）

《パネリスト》

1. 新型コロナウイルス感染症流行による医療現場への影響 佐藤広子さん（戸畑けんわ病院）
2. コロナ禍における公務労働の現場での働き方は 永野忠幸さん（北九州市職員労働組合）
3. 新型コロナ禍の学校 高津純子さん（全教北九州教職員組合）
4. 新型コロナウイルスが阻む保育への問題 三宅裕美さん（北九州市職員労働組合）
5. コロナ禍における生協労働者の実態 若林竜二さん（エフコープ生協労働組合）



【セミナー視聴参加者からの声】

◇記念講演1「ジェンダー視点でみるコロナ禍における労働法の課題」

- ・ジェンダーの問題について、勉強になった。よく整理されていてわかりやすかった。
- ・女性の差別など低い日本の人権意識の向上、国際基準にしてあげるようにしていかなければならないと思った。ジェンダー平等求めていく。
- ・ジェンダーに関することや人権に関する内容で今学習している内容でより深めることができた。

◇パネルD1「コロナ禍の働かされ方・働き方の変化」

- ・様々な業種における深刻な労働実態や、政策の不備を改めて知ることが出来た。労働者が団結し自ら発信することの重要性も再認識した。
- ・非常勤労働者の扱いの実際と、調査で出された数字の見えないトリックが分かり、考えさせられた内容だった。
- ・労働環境の改善における女性や非正規等が抱える課題を改めて学ぶことができたため。
- ・一部の仕事はテレワークへと移行していく中、業態的に移行が不可能な職種の人がいて、抱えている問題について詳しく学べたのがとてもよかったと感じました。

◇特別企画「アスベスト問題はこれからだ！」

- ・現在のアスベスト問題が理解出来た
- ・アスベスト被害者の生の声が聞こえたから！
- ・アスベスト問題はずいぶん前に解決されていたものと思っていましたが、国の対応の遅さに落胆しています。また、このコロナが2年ほど続いているのに国は必要な保証や対策が行えていない現実に悲しくなります。

◇記念講演2「パンデミックを生きる指針～歴史研究のアプローチ～」

- ・環境問題や労働問題について農業史という観点から論じられていて大変興味深かった。
- ・食と農について、歴史や政治の問題、自然破壊の問題などとてもわかりやすかった。
- ・細菌感染の過去の事例など、感染についていろんな見かたがあることが実感できた。自分の問題意識について深めるきっかけになったかもしれない。

◇パネルD2「エッセンシャルワーカーの働き方と対策」

- ・新しい観点から色んな事を考え直すきっかけとなりました。
- ・コロナ禍の中の困難な職場環境で、様々な職種の人達が前向きに仕事に打ち込んでいる姿に感銘を受けた。
- ・エッセンシャルワーカーの働き方と対策は現状がつかめてとても良かった。
- ・非常に病院現場、学校、保育所など実態が共感できた。

Ⅲ. 誌上討論

九州セミナーの原動力である分科会はオンラインで開催運営が困難な為、紙上での報告と討論を行う事としました。「演題募集→実行委員会から演者への質問コメント→演者からの回答」の一連のやり取りを含めて紙上での討論を行いました。九州セミナーとしても初めての試みであり、他の組織でも実践がほとんど行われていないチャレンジングな企画でしたが36演題もの応募があり報告者、現地実行委員会の紙上での討論は今後コロナ禍を乗り越える為の貴重な財産となりました。

《募集演題のテーマと報告数》

1. コロナ禍における労働と実態 10題
2. コロナ禍における格差と貧困の進行 11題
3. コロナ禍での労働安全衛生活動 5題
4. 労働災害と補償について 6題
5. その他 4題

Ⅳ. 各プロジェクトについて

【紙上討論プロジェクト】

<会議記録> 5/19、5/31、6/9、6/15、6/22、7//5

<委員>

田村昭彦、青木珠代、池上遊、那須隆紀、手島真裕美、日高琢二

【パネルディスカッションプロジェクト】

□パネル D1 「コロナ禍の働かされ方・働き方の変化」

<会議記録・パネラーとの打合せ>

9月25日10時～Web会議

10月7日18時30分～Web会議

<委員>

田村昭彦、青木珠代、那須隆紀、日高琢二

□パネル D2 「エッセンシャルワーカーの働き方と対策」

<会議記録>

5月13日18時～Web会議

6月3日18時～Web会議

6月30日18時～Web会議

7月20日18時～Web会議

<パネラーとの打ち合わせ>

9月1日18時～Web会議

9月28日18時～Web会議

<委員>

田村昭彦、舟越光彦、青木珠代、田中直光、長田洋一、大島 正、安達靖史、
那須隆紀、日高琢二

【広報活動プロジェクト】

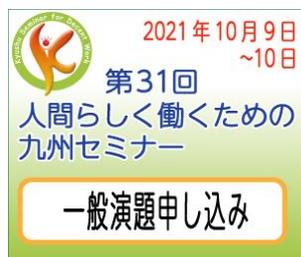
- 現地ニュース「きちちゃり～KITAQ」の発行
実行委員会参加団体の持ち回り担当で、毎月を基本に1～13号まで発行
＜担当事務局＞ 石迫 直、中田寛昭、那須隆紀
- 学習会ビラ作成
毎回の学習会案内ビラを作成
＜担当＞ 中田寛昭、那須隆紀
- Facebookでの発信と更新
企画案内等を発信
＜担当＞ 池上 遊、石迫 直、那須隆紀



【ホームページプロジェクト】

九州セミナーin 北九州は完全オンラインでの開催の為、ホームページのリニューアルを行いました。

- *参加申込・一般演題エントリー用 QR コード・URL を作成。
 - *申込者に当日使用分の YouTube の URL・記念講演・パネル・特別企画の資料が掲載されている専用ページを送付。
 - *参加申込・一般演題申込の集約はスプレッドシートで管理。
- ＜委員＞ 古川龍弥、林田孝一、田村昭彦、青木珠代、那須隆紀、日高琢二



【Web 配信プロジェクト】

九州セミナーin 北九州は完全オンラインでの開催を決定し、秋の学習会企画で実施したように Zoom 配信を YouTube に載せ配信を行う事としました。全体進行責任者・司会・コーディネーター・企画担当(タイムキーパー)・YouTube 配信・Zoom 担当の体制を整え本番前に数度打合せ会議を行いました。本番では大きな音声トラブル・配信トラブルはありませんでした。

＜委員＞ 永江幸司、田中直光、田村昭彦、青木珠代、那須隆紀、日高琢二

【事前打ち合わせ会議】

＜会議記録＞

2019年 11/1、11/27

2020年 1/21、1/29、2/27、4/2、7/9、8/3、11/30、12/23

2021年 1/5、1/25、2/8、2/24、3/15、3/29、4/22、5/19、5/21、7/28、8/19、8/24、9/8、10/26、11/22

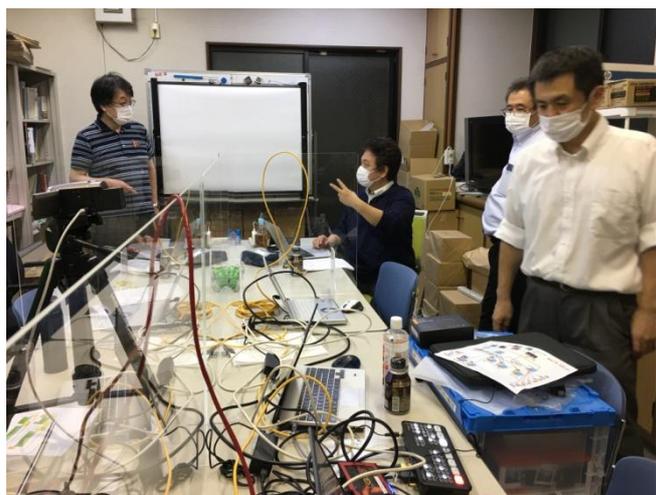
＜委員＞ 田村昭彦、青木珠代、池上 遊、那須隆紀、手島真裕美、永野忠幸、日高琢二

【セミナー当日の様子】（配信基地局：九州社会医学研究所）

セミナー前日準備・打ち合わせ(2021.10.8)



セミナー前日準備・打ち合わせ(2021.10.8)



セミナー当日司会進行の様子



セミナー当日司会進行の様子(原稿読み)



セミナー当日の YouTube 配信の様子



セミナー当日の YouTube 配信の様子



北九州現地実行委員会 2年間の軌跡

現地実行委員会事務局長 那須隆紀

～北九州現地実行委員会の確立から第1回事前学習会の大成功～

2019年10月19日(土)に2020年11月14日・11月15日の両日開催の九州セミナーin北九州の成功を目的とし現地実行委員会を発足しました。働くものの健康問題や労働実態の把握に努め、職場や地域が抱える課題について学者、研究者、弁護士、医療機関、労働組合、行政機関、マスコミ等との連携を深め学習や企画を行うこととしました。

2019年11月5日に第1回事務局会議を行い、セミナー本集会の開催場所・日時について報告し北九州現地実行委員会用のメールアドレスを作成しました。協議事項としてテーマ/コンセプトを年明けに決める事としました。2回目からの事務局会議では北九州セミナーのテーマ・事務局の役割担当について企画担当・広報担当・現地実行委員 NEWS を作成していく事を決定しました。現地実行委員会 NEWS のタイトルは「北九州セミナーに来てくださいね」の意味を込めて『きちゃり～KITAQ』に決定し、各月で発行していく事にしました。

現地実行委員会企画のスタートでもある第1回事前学習会は、大々的に参加を広め盛り上げる事としました。第1回事前学習会のチラシの作成は現地実行委員会事務局にも参加していただいた KOHO 労働組合中田さん(現地実行委員会事務局次長)に作成して頂き、北九州各地区の生涯学習センター・大学生協・市政記者クラブ・民商・友の会、しんぶん赤旗折り込みなど、計6500枚を配布しました。

第1回事前学習会企画は、2020年2月15日に北九州男女共同参画センタームーブにて法政大学の上西充子教授を招聘し「働き方改革」を問い直す～「ごほん論法」にはぐらかされず、「呪いの言葉」を押し返す～を開催しました。安倍政権の働き方改革批判や意図的な論点ずらしの「ごほん論法」を国会中継の解説を交え講演していただき、最後に労働をめぐる呪いの言葉の解き方をご教授していただきました。当日の会場は165名の定員数に対し満員の165名の参加で大成功に終わることができました。

第1回事前学習会の成功を受けて、現地実行委員会を開催しテーマ/コンセプト等、労働問題・興味関心事項について意見交換を行いました。次の第2回事前学習会は「外国人労働者の働き方と健康」について学習会を行うこととしました。第3回・4回の事務局会議では労働問題・興味関心事項についてフリートークを行いました。時間外労働の上限規制、ジェンダーと労働、ウーバーイーツなどの雇用に頼らない働き方、非正規雇用労働者の働き方と健康、メンタルヘルスの支援策、ハンディーを持っている人たちの働き方・働かせ方、障がい者の雇用枠が拡大したが職場での環境は整っているのか、等の意見交換をしました。

～襲い掛かる新型コロナウイルス感染症の猛威～

第2回事前学習会の議論もはじまり、準備をしている最中に新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染が全国、そして現地北九州でも広がりました。2020年4月7日に緊急事態宣言が発令され対象地域に指定された北九州は公共施設等の利用が出来なくなりました。2020年4月10日に開催予定をしていた現地実行委員会での集中討議も延期せざるを得なくなり、4月以降の事務局会議の開催も見合わせました。2020年4月24日に開催予定をしていた第2回事前学習会「外国人労働者の働き方と健康」も「緊急事態宣言発令」に伴い延期となりました。

急速に感染拡大する新型コロナウイルスの感染症は、九州セミナーの醍醐味である集まって交流するという重要な柱を脅かすこととなりました。2020年5月中旬には新型コロナウイルス感染症が減少傾向でしたが秋～冬に感染力の強い第2波が襲ってくることが予測され、11月中旬には再

度緊急事態宣言が発令されている可能性も高いものと予測されました。従って九州セミナー直前に開催の中止の判断を行う可能性が高いものと思われ、そこで急遽中止となった場合、講師、参加者に多大なご迷惑をおかけするとともに大きな混乱を避けるため開催に関して早期に結論を出す必要がありました。そして、九州セミナー本部・代表世話人会・現地実行委員会で議論を重ね1年の開催延期を決定しました。

～コロナ禍での北九州現地実行委員会の粘り強い取り組み～

2020年6月には中断していた事務局会議を3ヶ月ぶりにZOOMミーティングで行いました。「1年開催を延期する」という九州セミナー本部の提案を現地実行委員会は「1年延期によって今までの九州セミナーとは違った形で開催出来たらよい」「コロナ禍で起きている様々な問題を現地実行委員会で分析し、セミナー開催に向けて議論を重ねて行きたい」と延期を前向きに捉えました。集まったの会議は出来なくなりましたが、ZOOMミーティングでのWeb会議に現地実行委員会は柔軟に対応し毎月1回事務局会議を行うこととしました。また、ZOOMのウェビナー・ミーティング機能を活用した学習企画の議論を始めました。

第1回の学習会から約8ヶ月を経て、2020年10月3日(土)に九州セミナー代表世話人会と北九州現地の共同企画として、秋の学習会「COVID-19における働く人びとの実態と対策」をYouTube限定公開のライブ配信で学習会を行いました。エッセンシャルワーカー、収入激減・雇用・生活崩壊、働き方の変化、相談からみたCOVID-19を2グループに分かれ報告・ディスカッションが行われました。70名の参加者、672回の視聴回数にのぼりWeb配信での九州セミナー秋の事前学習会は大成功となりました。現地実行委員会ではその後、「COVID-19における働く人びとの実態と対策」をテーマに、教育現場・医療現場・外国人労働者・物流関係・生活困窮とコロナ禍での働き方・コロナ禍で制定された制度が有効だったのか等の学習会企画をシリーズで2ヶ月に1度行う事を決定しました。

2020年11月14日(土)の第2回事前学習会「COVID-19における働く人びとの実態と対策～エッセンシャルワーカーの実態～」を北九州労健連と現地実行委員会の共同企画で行いました。医療現場・介護現場・歯科診療の現場・行政(保健所)の現場から実態の報告を受けました。コロナ禍でのエッセンシャルワーカーと言われる最前線で働く現場の実態をリアルに聞く事が出来た貴重な学習会となりました。

第3回事前学習会は、大学生や学校教諭、保育労働の実態等の教育の現場に焦点をあて、2021年2月11日(木)にZOOMウェビナーを使い「COVID-19における働く人びとの実態と対策～学校・保育の教育現場から～」を行いました。大学生の現場からは大学の授業の実態、課外活動、生活の部分について小学校教員の現場からはコロナ対策、授業の様子、給食、生徒の様子など保育の現場からは子ども達の様子、保護者への対応、行事開催の感染対策等を報告してもらいました。参加者からの質問はZoom機能のQ&Aに送ってもらい裏方がピックアップし司会者へチャットで流し司会者が報告者に質問する方法を取りました。

第4回事前学習会は、コロナ禍による生活困窮・コロナの影響で病院への受診抑制・コロナ禍で制定された制度がはたして有効だったのかを学習会で行うこととし、2021年4月17日(土)に「COVID-19における働く人びとの実態と対策～医療相談事例から考える～」を公益財団法人健和会大手町病院医療ソーシャルワーカーを講師に開催しました。働く人がコロナの影響による収入の激減で高額な医療費が払えない状況となり、病院受診が抑制され無料低額診療につながった事案を報告してもらいました。報告いただいた後、Web上と併せサテライト会場でのグループディスカッションを行いました。グループディスカッションでは雇用形態による収入の変化の問題や社会保障の拡充に対する運動はどうしたら良いか等を参加者で議論し共有しました。

2021年6月25日(金)に行った第5回事前学習会は、新型コロナウイルス感染症の流行前であった2020年4月14日予定していた「外国人労働者の実態と健康」を約1年ぶり開催することを決定しました。問題だらけの技能実習制度の中で働く外国人労働者の実態や言語の壁で起こる苦悩などを外国人労働者の実態として報告してもらいました。また、救急受診される外国人患者の労働災害の実

態や保険・医療費、コミュニケーションツールの紹介などを報告してもらいました。外国人であっても同じ人間であり誰もが人権を尊重され生きる権利があるということを再認識できました。

第6回事前学習会は、第31回九州セミナーの記念講演をより深く理解してもらう為に2021年8月25日(金)「身近なジェンダー」学習会を行いました。講師は女性協同法律事務所の柏熊弁護士を迎えジェンダーチェックテストから始まりジェンダーとは、ジェンダーギャップ指数（各国と日本の比較のグラフ等）について、働く現場での男女間の不平等、男女の非正規雇用の割合と賃金格差、コロナ禍とジェンダーについてわかりやすく講演していただきました。

2020年10月から始まり、2021年8月まで約10ヶ月間コロナ禍における労働の実態の学習・企画を計6回行うことができました。「COVID-19における働く人びとの実態と対策」シリーズに参加して頂いた方達は延べ400名にのぼりました。集まる事が制限される中、Zoomを活用し2ヶ月に1度継続的に学習会が行えたのはコロナ禍で働く人びとの健康権に関する調査、研究を九州セミナー本部・現地実行委員会で粘り強く取り組んできた成果だと考えます。

広報活動では、「きちちゃり～KITAQ」を事務局で各月の作成担当を決め、各学習会や現地実行員会の取り組みの紹介、北九州セミナーの案内などを掲載し発行しました。また、Facebookも活用した広報にも取り組みました。現地実行委員会企画のチラシはKOHO労働組合の現地事務局次長と現地事務局長で協議し作成をしてきました。

コロナ禍で集まる事が困難な中、2年間現地実行委員会が継続できたことは柔軟な対応力、強い団結力、そして働く人びとの健康権を守りたい強い思いがあつてこそのことだと考えています。

以上

現地実行委員会事務局次長からの感想～2年間セミナー運動に携わって～

○石迫直さん 現地事務局次長(福岡建設労働組合北九州支部)

2年間事務局として主に、ニュース「きちちゃり～KITAQ」の発行を担当させていただきました。また、現地の事前学習会の「外国人労働者の実態」ではリモートでの司会も務めさせていただきました。司会も、ニュース発行もアウトプットする為の準備や、学習会の内容をまとめる作業の中で、事前学習会の内容を、予習・復習でき、とても有意義に学習できました。今後、現地事務局で2年間学んだことを活かし、自分の団体でも、建設業で働く一人でも多くの方が、危険な職場でも健康に働いていけるに取り組んでいきます。

○津村和彦さん 現地事務局次長(自治労連北九州市職員労働組合)

事前学習の積み重ねが本番の成功に繋がったと思います。

2年間本当にお疲れ様でした。

○細川達也さん 現地事務局次長(健和会労働組合)

私個人としては1年あまり事務局員としてセミナーに携わってきました。

コロナ禍でのリモート開催ということで、何もかもが初めての経験でしたが、無事にセミナーが成功したことをうれしく思っています。

今回は画面越しではなく、実際に集まってセミナーが開催できることを祈っています。

第31回人間らしく働くための九州セミナーin北九州・写真集 part1



結成総会現地実行委員長挨拶(2019.10.19)



結成総会での発言(日高事務局次長)



第1回事前学習会開会挨拶(池上実行委員長)



第1回事前学習会司会(那須事務局長)



第1回事前学習会閉会挨拶(杉山副実行委員長)



第1回事前学習会満員の様子(2020.2.15)

第31回人間らしく働くための九州セミナーin北九州写真集 part2



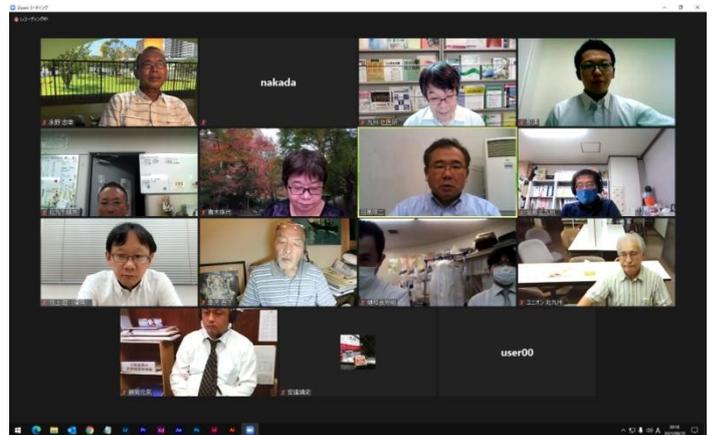
第1回現地実行委員会事務局会議(2019.11.5)



第1回現地実行委員会(2020.2.15)



Zoom ミーティング会議中(第4回現地実行委員会)



Zoom ミーティング会議中(第4回現地実行委員会)



第5回現地実行委員会(2021.10.1)



第22回現地実行委員会事務局会議(2021.10.27)

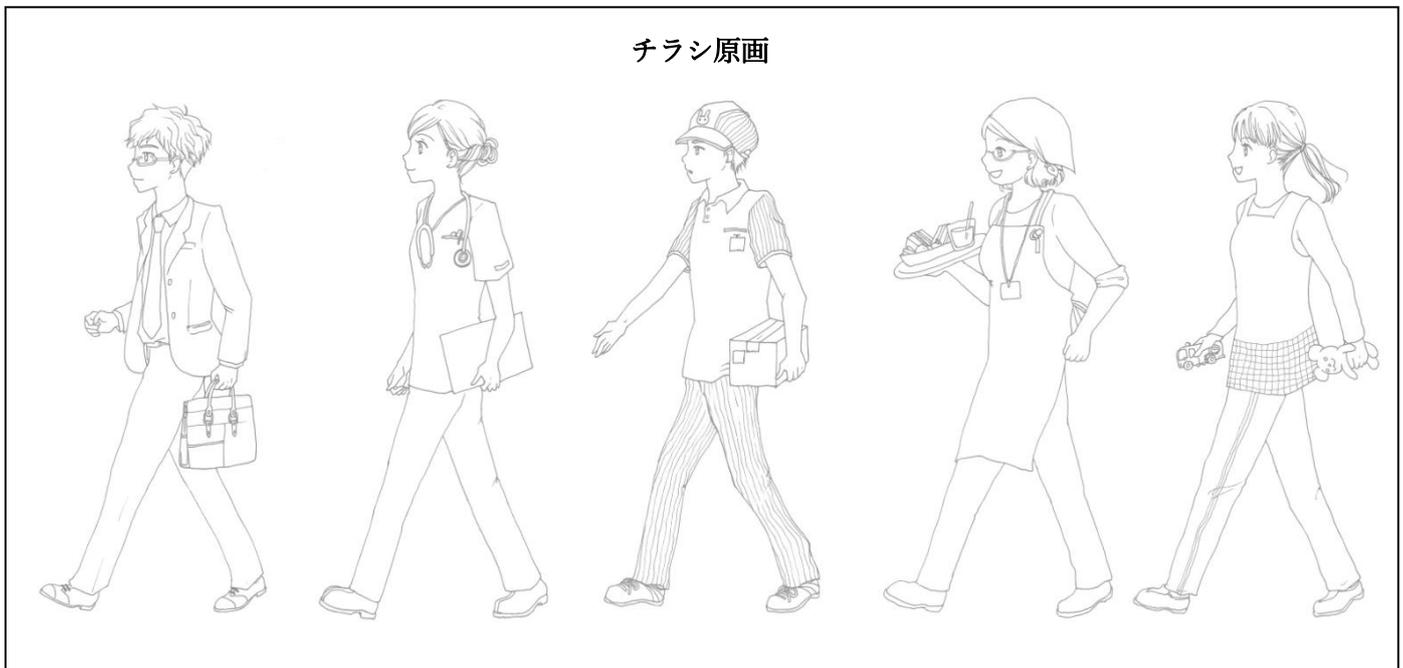
第31回人間らしく働くための九州セミナーin 北九州写真集 part3



YouTube 配信画面 1 日目(2021.10.9)



YouTube 配信画面 2 日目(2021.10.10)



セミナー前日の準備・打ち合わせ(2021.10.8)



セミナー当日(2021.10.9~10.10)